

INFORMATION

21世紀を男女平等社会にしよう



磯野恭子さん
(NPO 法人やまぐち
男女共同参画会議顧問
岩国市前教育長)

戦後女性たちに画期的な権利が与えられたのが日本の憲法です。

二番目は女子差別撤廃条約です。憲法には男女平等を謳いながら、現実には様々な女性への差別があるのを女性たちは実感していました。そこへ世界から黒船がやってきました。国際婦人年とそれに続く国連婦人の10年は女性の地位向上を促進する新たな時代を開きました。「発展・平和・平等」を掲げ、中でも女子差別撤廃条約の締結は山口県にも大きな波動となつて女性たち一人一人を鼓舞していきました。

自治体も動き始めました。県に女性行政の要のポストに女性課長を置き、学校の校長にも女性を登用、女性警察官・大学の女性教授・女性消防士、保健所にも女性の所長を据えました。

1980年、日本が署名した女子差別撤廃条約は(1)男女が個人としての尊厳を重んじられること(2)性別による差別を受けないこと(3)女性の能力を発揮する機会が確保されることなどを規定しています。

この基本法を私たちが住んでいる地域で実施するために自治体毎にその地域の特性に応じた具体的な内容の「男女平等推進条例」を制定する動きが盛んになりました。

岩国市も平成19年に「男女共同参画推進条例」を制定し、いま第二次基本計画の策定に向けて準備が進められています。

男女共同参画社会基本法の前文には男女共同参画社会の実現を21世紀の日本社会を決定する最重要課題と位置づけています。

人権は一人一人のもので、女子差別撤廃条約を通して私たちの人権が保障されているかを問い、それによって条約が有効に働くようになると認識して欲しいのです。

市が作った基本計画の点検・評価、何ができて何ができなかったか、暮らしやすい社会を男女が共につくっていくための強力なツールとして身近なものとしていくために自治体は女性の資質・能力の向上・人間としての充実・発展を促す施策を積極的に進めていく必要があります。その具体策が女性問題解決のための「行動計画」の推進です。条例の内容を具体化する条例に基づき男女が共に生き活きと活躍できる社会をつくることが求められています。

配偶者等からの暴力(DV)に関する相談窓口

市民協働推進課男女共同参画室

☎29-1155 (相談専用)
平日 8:30~17:15 (祝日・年末年始は除く)
*各総合支所地域振興課でも相談可

山口県男女共同参画相談センター

☎083-901-1122 (相談専用)
☎0120-238122 DVホットライン [緊急用]
・電話相談 平日 8:30~22:00
土日 9:00~17:15
(祝日・年末年始は除く)
・面接相談 (要予約) 平日 8:30~17:15
・弁護士・医師・心理の専門家による専門相談 (要予約)

岩国警察署 ☎24-0110

編集後記

さくら21では、皆さんがわかり易く興味をもっていただけるように、男女共同参画社会の様々な視点でテーマを考えています。「男女共同参画社会とは何か?」もう一度、身近な問題として、考えてみませんか!
編集委員 塚本 工藤 兼田 村上 賀屋 牧野

男女共同参画キーワード

パープルリボン・プロジェクト

パープルリボン・プロジェクトは、国際的な女性に対する暴力根絶運動です。1994年2月アメリカ・ニューハンプシャー州のベルリンという小さな町で、大人のレイプや虐待の被害者による集まりから始まりました。今では40カ国以上の国で取り組まれ、パープル(むらさき)色のリボンを飾ったり身につけたりすることで、「暴力のない世界にしたい」という意思表示になります。どこでも・誰でも・一人でも始められる運動です。

「さくら21」編集委員を募集

市内に在住または勤務している20歳以上で、男女共同参画に関心のある方、情報紙を作ってみませんか?
応募される方は、申込書に課題の提言文を添えて3月25日(金)までに申し込みください。詳しくは、男女共同参画室へご連絡ください。

連絡先 男女共同参画室 ☎29-5017

魅つけた! あの人

生徒さんと楽しみながら 自宅で料理教室

生涯現役! 自分自身に挑戦!



高藤和子さん 78歳 (今津町)

教室を始めた動機

子どもから手が離れた48歳の頃、習いに行くだけの一方通行では達成感が薄く、今度は逆の立場になろうと考えていました。

そんな時、テレビで、イギリス駐在の日本の外交官夫人が、ティータイムに手作りのスコーンで招待されて感激し、日本に帰って友達に「教えて」と言われて自宅の台所を開放し、楽しくやっているという場面を見て、「これだ」と思い、自分も教室を開きました。現在、生徒数は25人(内男性2人、20代~80代)で、毎週月・金曜クラス、月に1度のシニアクラスと外国人クラスを開いています。

教室をしてきてよかった事は?

習う立場、教える立場が分かり、我慢強くなりました。人と人との和、思いやり、色々な角度から見たり考えたりしながら、失敗をフォローできるようになりました。又、元気でいることができるのは、前向きで生活しないと、料理が追っかけてくるので、病気になる暇がありません。逆に生徒さん達にお守りされ、遊んで頂いている感じがして大変感謝しています。

生徒さんの声

- エネルギーをもらいに来ている
- 幸せを感じる
- 料理の大切さを教えてもらった
- お料理を作って元気をもらっている
- ここの教室がパワースポットみたい

料理とは?

大切な事は、家族の健康に気をつけ、愛情をもって添加物のない安全な料理を作り、そして、作る喜びを得る事だと思います。

戦前満州に住んでいた時、現地の方に中華料理を習っていた母の姿。戦時中、物資がないのに家族に美味しいものを食べさせたいという母の努力。そんな母の影響は大きく、家族の喜ぶ顔が嬉しくて、家族のために料理があるのかなと思っています。

いつまでも元気で活動できる秘訣は?

前向きでよくよしない。自分というものを持って無理なく自然体で、自分のリズムをこわさないこと。

「生涯現役が理想!

いつまで続くか自分自身に挑戦!

生き方、考え方でどのように生きられるか、自分自身が実験です。

男女共同参画社会について

「男は仕事」「女は家庭」や「男子厨房に入らず」など男女の性別の違いによる言葉がありますが、どう思われますか?

根本的に男は男 女は女 特徴あり

環境により自在に考えて行動できる頭を持つことだと思っています。



さくら21

男女共同参画エンパワーメント講座を開催しました

「知っている! 耳は情報 私の生活プラン」

● 11/17 (水) 「ことば」から知る
年金のしくみと将来生活設計!!

● 11/26 (金) 知ってトクする!!
源泉徴収票から見る税のしくみ

講師 中村久枝さん
(ファイナンシャルプランナー)



ワーク・ライフ・バランスの啓発活動

健康スポーツのつどいにて 10/11 (月)

暴力をなくすための啓発運動

「パープルリボン・プロジェクト」



男女共同参画
啓発活動



人権啓発フェスティバルにて

11/19 (金)

特集 どんな社会なの? 男女共同参画社会って!!